



令和7年3月1日現在	
総人口	12,337人
男	6,006人
女	6,331人
世帯数	5,514世帯
島内公民館	電話 47-0264
FAX	40-1264



2月9日(日)、松本市音楽文化ホールで、「島内・島立ふれ愛コンサート」が開催されました。このコンサートは「お互いが尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域になることを願って…。音楽の力で愛がつながる、ふれ愛の時間になりたい」と、行われています。

いので、ダンスを通して体を動かすことがとても良いそうです。今回は、ルンバ、ワルツ、創作ダンスを披露してくださいました。煌びやかな衣装で、車いすでくるくる回ったり、キレのある動きをしたり、とても素敵なダンスでした。「車いすダンス歴10年だが今まで一番うまく踊れて楽しかった」

「舞♡フレンズ」のステージが始まりました。車いすダンスは、車いす使用の方を「ウィルチエア・ドライバー」、立ち役の健康者を「スタンディング・パートナー」と呼び、障がいのある人となない人がペアを組んで踊ります。車いすの方は、あまり体を動かさない

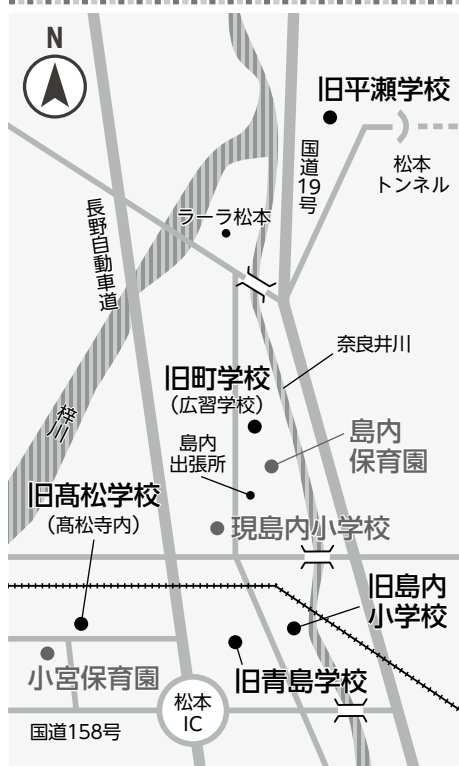
「子ども達の音楽で元気をもたらし、また明日から頑張ろうと思える。そう感じる事ができるのが音楽の素晴らしさだと思う」と感想を聞かせてくださいました。

「明るい気持ちになるよう演奏したい」と音楽を届けてくれた皆さん、ありがとうございました。

た「年齢を重ねてもできるのいい。社交ダンスとステップが似ているので経験のある方は是非参加してほしい」と話していました。

「舞♡フレンズ」は、松本手まり時計まつりや公民館文化祭等のイベントでもデモンストレーションや車いす体験を行っているそうです。興味のある方は、まず見学からいかがでしょうか。

島立小学校ブラスバンド部、松島中学校吹奏楽部、高綱中学校吹奏楽部の演奏もあり、最後は3校合同の「宝島」の演奏に拍手喝采でした。「良かったね、本当に良かった」「子ども達の音楽で元気をもたらし、また明日から頑張ろうと思える。そう感じる事ができるのが音楽の素晴らしさだと思う」と感想を聞かせてくださいました。



令和7年は昭和が始まってから百年目の年です。いくつもの戦争の時代を終えた後、島内村から松本市に合併、土地改良で景色が一変等々、島内館報の記事には人々の生活や価値観が大きく変化する出来事がいくつも取り上げられていました。

その中で子どもたちの通う学校や保育園はどんな百年だったのか調べてみました。最初にあったのは大正12年に現在地に移転した島内小学校です。それまで4つの地区にあった学校をひとつにまとめたものですが、昭和17年までは高松学校が、昭和39年までは平瀬学校が残っていました。昭和22年に国の学校制度で中学校ができ、最初は小学校の

校舎の中に設置されましたが、昭和33年に現在の場所に竣工され松島中学という名前になりました。

農業人口が多かった小宮・高松地区では戦後の早い時期から季節保育所が始まっています。農繁期の相互保育所で給食もあり、他の市町村のさきがけだったようです。小宮保育所は昭和29年に正式に保育園として竣工しました。その後昭和35年に島内保育園ができました。小宮保育園は平成7年に現在の場所に移転しました。

昭和が始まった頃は、島内には小学校しかなかった子どもが通う場所が、百年の間に小宮保育園の前身ができ、松島中学校ができ、島内保育園ができ、現在の姿になっています。

島内公民館 公民館委員会の紹介

島内地区公民館には、館報編集委員会、文化委員会、図書視聴覚委員会があります。今回は、それぞれの委員長が活動内容の紹介をします。

館報編集委員会

委員長 高山 裕子

島内公民館報は昭和25年に発行、今号で464号です。島内地区の行事や出来事、歴史や文化を記録し、公民館の事業などの広報、啓発をしています。年6回奇数月に発行。毎月1回編集会議を開き、紙面の企画編集をしています。毎回、記事になる話題探し、時には現場での取材や写真撮影、読みやすい紙面作りに悪戦苦闘することを楽しんでいます!? 情報提供をお待ちしています。



編集会議の様子

館報編集委員・図書視聴覚委員

募集中!!

一緒に活動してくださる館報編集委員と図書視聴覚委員を募集しています。興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お気軽に島内公民館までご連絡ください。

図書視聴覚委員会

委員長 牧垣 智子

当委員会の主な活動は、乳幼児や小学生を対象とした読み聞かせ「お話し会の会」の運営です。年に8回ほどの会と、毎回事前に企画会議を開いています。絵本・紙芝居・パネル・エプロン・OHP等を使い、季節感のある様々な内容で、会場は島内公民館の他、島内・小宮、両保育園にも出



読み聞かせの様子

かけてお話を届けています。

また、音楽文化ホールでの「おはなしファミリー劇場」や「ふれ愛コンサート」の協力、島内地区町会連合会が作成した紙芝居「島内の島居火」や「勘左衛門堰」を、町会や小学校の要請に応じて、演じています。

委員一同、工夫を凝らして楽しい会にしていますので、どうぞお出掛けください。

文化委員会

委員長 村山 俊雄

私たち、文化委員会は、島内公民館のギャラリーピアッザで作品の展示を主に活動しています。

春の「ひな人形」「五月人形」をはじめとして島内小学校と松島中学校の皆さんの作品等を、約2週間毎の期間で展示しています。

展示開始の前日に、文化委員の人達が集まり展示作業をしています。慣れたもので、一人一人が自然に作業分担して進めます。壁に紐を真つすぐピンと張る人。脚立に上つて壁の紐に合わせて作品を飾る人。見事なものです。(自画自賛...)

その他の活動として、島内文化ふれあいまつりのステージを担当して盛り上げています。

また、年に4〜5回懇親会



みんなで協力して飾っている五月人形

を計画し、委員相互の親睦を図っています。(楽しい) 島内の皆さん。展示する作品を待っています。

作品募集中!!

公民館ギャラリーに展示する作品を募集しています。趣味の作品等お持ちの方、団体がありましたら、島内公民館までご連絡ください。

・中南信蘭友会の洋ラン展
4月14日(月)〜25日(金)
・五月人形展
5月8日(木)〜23日(金)

令和7年度
公民館ギャラリーピアッザ
展示予定(4月〜5月)



ひな人形展
3月11日(日)〜27日(木)



公民館
ホームページ



地域づくりセンター
X(旧ツイッター)